

施策	基本事業名	指標名	担当課	指標の種類	指標区分	単位	取得方法	算定式	目標値設定理由	総合計画 基準値 (R3)	総合計画 目標値 (R8)	31年度指 標値_実 績	2年度指 標値_実 績	3年度指 標値_実 績	
施策5-1 学校教育の充実	0	将来の夢や目標を持っている小学6年生の割合	学校教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】①・②と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】「全国学力・学習状況調査」児童質問紙(文部科学省) 【設問】「将来の夢や目標を持っていますか」、回答:「①当てはまる、②どちらかといえば当てはまる、③、④、」	令和元年度から令和3年度までの過去3年間の指標の実績値を見ると、令和4年度の目標値83.0%を超えたのは、令和3年度の85.9%のみである。今後は安定的に83.0%を超えるように、令和8年度の目標値を83.0%以上と設定する。	85.9	83.0	81.3	78.4	85.9	
		将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合	学校教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】①・②と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(文部科学省) 【設問】「将来の夢や目標を持っていますか」、回答:「①当てはまる、②どちらかといえば当てはまる、③、④、」	令和元年度から令和3年度までの過去3年間の指標の実績値では、令和4年度の目標値72.0%を超えたことがない。新型コロナウイルス感染症の影響で学校行事が中止や縮小したことによって、達成感を味わう体験が少なかった可能性も考えられるため、令和8年度の目標値を令和4年度と同じ72.0%と設定する。	65.2	72.0	65.6	70.8	65.2	
		学校教育(小・中学校)に満足している保護者の割合	学校教育課	上がると良い指標	成果	%	市民アンケート	【算定】①と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】「小中学生の保護者の方のみ」学校で行われる教育に満足していますか 回答:「①はい ②いいえ」	令和元年度から令和3年度までの過去3年間の指標の実績値では、令和4年度の目標値80.0%を超えたことがない。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で学校行事が中止・縮小されたことや保護者の学校行事等への参加が制限されたことが保護者の満足度の低下に影響している可能性がある。よって、令和8年度の目標値を令和4年度と同じ80.0%と設定する。	70.7	80.0	75.4	71.4	70.7	
	1	確かな学力の向上	小学6年生の国語、算数(全国学力・学習状況調査)の平均点の指数	学校教育課	上がると良い指標	成果	pt	業務取得	【算定】筑後市平均正答率 ÷ 全国平均正答率 × 100 【取得】全国学力・学習状況調査(文部科学省) 【対象】国語、算数	小学6年生における全国学力・学習状況調査の指標の実績値は、概ね安定的に目標値を達成している。この状態を維持できるよう、令和8年度の目標値は令和4年度と同じとする。	103.9	103.0	102.8	-	103.9
			中学3年生の国語、数学(全国学力・学習状況調査)の平均点の指数	学校教育課	上がると良い指標	成果	pt	業務取得	【算定】筑後市平均正答率 ÷ 全国平均正答率 × 100 【取得】全国学力・学習状況調査(文部科学省) 【対象】国語、数学	中学3年生における全国学力・学習状況調査の指標の実績値は、目標値前後で推移しているが、安定的に目標値を達成できるよう、令和8年度の目標値を100.0pt以上と設定する。	100.3	100.0	93.4	-	100.3
	2	豊かな心の育成	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合	学校教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】①と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】「全国学力・学習状況調査」児童質問紙(文部科学省) 【設問】回答:「①当てはまる、②どちらかといえば当てはまる、③、④」	令和元年度から令和3年度までの過去3年間の指標の実績値の平均が83.7%であったため、令和8年度の目標値を過去3年間の平均値よりも若干高めめの85.0%に設定する。	84.8	85.0	83.8	82.5	84.8
			毎日朝食を食べている小学6年生の割合	学校教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】①・②と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(文部科学省) 【設問】回答:「①している、②どちらかといえばしている、③、④」	過去3年間の指標の実績値を見ると、令和4年度の目標値93.0%を超えていないのは、令和2年度のみである。よって、令和8年度の目標値を令和4年度より若干上方修正し、95.0%に設定する。	94.9	95.0	94.5	91.6	94.9
			いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合	学校教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】①と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(文部科学省) 【設問】回答:「①当てはまる、②どちらかといえば当てはまる、③、④」	令和元年度から令和3年度までの過去3年間の指標の実績値の平均が82.6%であったため、令和8年度の目標値を過去3年間の平均値よりも若干高めめの85.0%に設定する。	86.7	85.0	76.1	85.0	86.7
			毎日朝食を食べている中学3年生の割合	学校教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】①・②と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(文部科学省) 【設問】回答:「①している、②どちらかといえばしている、③、④」	過去3年間の指標の実績値を見ると、平成31年度から上昇傾向となり、令和3年度の現状値は令和4年度の目標値92.0%を超えることができた。よって、令和8年度の目標値を令和4年度より若干上方修正し、93.0%に設定する。	92.1	93.0	89.3	89.6	92.1
	3	健やかな体の育成	小学5年生の体力・運動能力調査の平均点の指数	学校教育課	上がると良い指標	成果	pt	業務取得	【算定】筑後市平均点 ÷ 全国平均点 × 100 【取得】「体力・運動能力調査」(文部科学省)	過去2年間の指標の実績値を見ると、令和4年度の目標値103.0ptを超えていない(R2はコロナで未実施)。よって、令和8年度の目標値を若干下方修正し、全国平均値である100pt以上と設定する。	98.2	100.0	97.8	-	98.2
			中学2年生の体力・運動能力調査の平均点の指数	学校教育課	上がると良い指標	成果	pt	業務取得	【算定】筑後市平均点 ÷ 全国平均点 × 100 【取得】「体力・運動能力調査」(文部科学省)	過去2年間の指標の実績値を見ると、令和4年度の目標値102.0ptに近い数値で推移している(R2はコロナで未実施)。よって、令和8年度の目標値は令和4年度のままとする。	101.5	102.0	101.2	-	101.5
	4	小中連携・地域連携の推進	学校関係者評価において、学校と地域との連携がとれていると認められた学校(小学校)の割合	学校教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【取得】毎年度2回行う学校関係者評価における「地域連携」の項目において、A~Dまでの4段階評価においてA又はBと自己評価した学校の評価に対し、過半数以上の評価委員がそれを「厳しい」「適切である」と評価した学校数÷全小学校数	市内全小学校11校(小学校再編により令和7年度からは9校)が地域との連携がとれた状態となるように令和8年度の目標値を設定する。	77.3	100.0	63.6	68.2	77.3
			1,000人当たり不登校生徒の出現率(全国平均100とした場合)(過去3年平均)	学校教育課	下がると良い指標	成果	pt	業務取得	【算定】筑後市の不登校数を1000人あたりに換算した数÷全国の不登校数1000人あたりに換算した数×100 【取得】「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」(文部科学省・筑後市)	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、不登校児童生徒が大幅に増加している。よって、令和8年度の目標値を全国平均値100pt以下と設定する。	93.0	100.0	78.6	93.0	不明
	5	教育環境の充実	長寿命化計画事業の着手率	教育総務課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	長寿命化計画に基づく事業着手数/長寿命化計画事業数	【着手事業/計画に計上した事業数】 筑後市学校施設長寿命化計画では、計画期間10年間で50を超える改修事業等を予定している。その進捗を測定するため、計画事業の進捗率を測定する。長寿命化計画の実施計画は、国の施設整備に関する方針や緊急的な対応を必要とする老朽化事業等により随時見直しているため、指標算出分母が変更することもあるが、全体の進捗を見るには一定の指標に成り得ると判断した。	25.0	88.5	-	15.4	25.0
			老朽化空調設備の更新率	教育総務課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	更新空調設備数(室)/令和5年度に設置後15年を経過する空調設備数(室)	【更新空調設備数(室)/令和5年度に設置後15年を経過する空調設備数(室)】 普通教室の空調設備も設置後10年が経過し、今後10年内には全体更新の検討が必要と想定される。一方で管理棟諸室(職員室・保健室・図書室等)の空調設備の多くは平成10~12年頃に設置され、老朽化による故障が相次いでいる状況である。後期計画期間においては管理諸室の空調設備の更新を計画的に進めるため、この進捗測定のため目標値を設定するもの。	17.8	68.9	-	-	17.8
			小中学校門扉の設置校数	教育総務課	上がると良い指標	成果	校数	業務取得	門扉を設置している学校数	【門扉を設置している学校数】 重点事業の取り組みの一つとして門扉設置を取り組みの一つとしてきたが、コロナ禍での不要不急事業の延期により先送りとなっている。学校の防犯体制強化のため、後期計画期間にて全校に門扉設置を行うべく指標化して取り組んでいく。	4	12	3	3	4
施設設備営繕要望の対応率			教育総務課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	総務担当及び作業班で対応した件数/総務担当及び作業班へ依頼された要望数	【総務担当及び作業班で対応した件数/総務担当及び作業班へ依頼された要望数】 学校施設設備の不具合等について、総務担当及び作業班へ毎年1,500件程度の対応要請があつている。施設設備の機能維持のためには一定水準以上の対応レベルを保つ必要があるため、毎年度対応のできた割合を把握するもの。	96.6	98.0以上	99.63	98.7	96.6	

施策	基本事業名	指標名	担当課	指標の種類	指標区分	単位	取得方法	算定式	目標値設定理由	総合計画 基準値 (R3)	総合計画 目標値 (R8)	31年度指 標値実 績	2年度指 標値実 績	3年度指 標値実 績
施策5-2 生涯学習・ス ポーツの推進	0	生涯学習活動を行っている市	社会教育課	上がると良い指標	成果	%	市民アンケート	【算定】①～⑦と回答した者の数(合計)÷回答者数(無回答を除く) 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】「この1年間に、次のような活動を継続的に行いましたか。」、回答:「①スポーツ、②読書、③文化・芸能、④趣味、⑤レクリエーション、⑥ボランティア、⑦企業内教育、⑧行っていない」	令和3年度は、アンケートの聞き方をわかりやすく変更したこともあって、前年度(37.0%)から30ポイント近く改善した。左記計画や要綱の着実な実施に加え、コロナ感染拡大防止の為に行動制限や催し物の制限が緩和に向かっている状況も勘案し、現状の5ポイント増を目指す。	64.9	70.0	35.8	37.0	64.9
		学習効果を家庭・地域に活かしている市民の割合	社会教育課	上がると良い指標	成果	%	市民アンケート	【算定】Q22の①～⑦のいずれかに回答した者のうち①のみを回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】Q22「この1年間に、次のような活動を継続的に行いましたか。」で「行っている」と回答された方のみ 学習成果について、どのように活用されていますか?(複数可) ①自分のために活かしている ②地域活動やボランティアに活かしている ③家庭のために活かしている	生涯学習を行う市民が増える事にもない、その成果を自分以外の為に活かす人を増やし、学びのサイクルを作っていく必要があるため。	33.8	35.0	32.7	31.3	33.8
	1 生涯学習の推進	生涯学習の機会に満足している市民の割合	社会教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】④、⑤と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】「以下についてどのくらいどのくらい満足していますか。(生涯学習の機会)」、回答:「①不満、②やや不満、③ふつう、④やや満足、⑤満足」	コロナ禍による行動制限や催し物の制限は緩和に向かっているが、現状値が事業休止等の影響を受けて低迷しているため、前期計画で掲げた目標値を再度目指すこととする。	11.4	17.0	11.6	15.1	11.4
		社会教育施設の年間利用者数	社会教育課	上がると良い指標	代替	人	業務取得	【算定】中央公民館(サンコア)利用者数+北部交流センター(チクロス)拠点施設利用者数+サザンクス筑後入館者数 【取得】年度末	コロナ禍による行動制限や催し物の制限は緩和に向かっているが、現状値が事業休止等の影響を受けて低迷しているため、前期計画で掲げた目標値を再度目指すこととする。	110842	240000	193909	88096	110842
		協働活動サポーター登録者数	社会教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】地域学校協働活動事業における協働活動サポーター(ゲストティーチャー等地域の支援者)の実人員 【取得】年度末	地域の人材を活かして学校を核とした地域づくりを目指し、令和4年度から全小学校区で地域学校協働活動事業に取り組んでおり、各小学校で支援・協力してもらえるサポーター数を指標とする。	168	220	-	-	168
	2 生涯スポーツの推進	週に1回以上、運動・スポーツをしている市民の割合	社会教育課	上がると良い指標	成果	%	市民アンケート	【算定】①、②、③と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】「この1年間に、どれくらいの頻度で運動・スポーツを行いましたか。(健康増進や趣味で行う軽い運動や体操なども含む)」、回答:「①ほぼ毎日、②週に3日以上、③週に1～2日、④月に1～3日、⑤3か月に1～2日、⑥年に1～3日、⑦全く行わなかった」	目標値は達成している。スポーツ推進事業を実施することにより、現水準の維持を基本とするが、さらなる向上も視野に50%以上とする。	52.0	50.0	49.8	54.9	52.0
		競技会場に行ってスポーツを見る市民の割合	社会教育課	上がると良い指標	成果	%	市民アンケート	【算定】①、②と回答した者の数÷回答者数(無回答を除く) 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】直接競技会場(スタジアムや体育館)に行ってスポーツを見ましたか ①よく見に行く ②年に数回は見に行く ③見に行ったことはないが、今後見に行きたい ④興味が無い	コロナ禍による行動制限や催し物の制限は緩和に向かっているが、現状値がイベント休止等の影響を受けて低迷しているため、前期計画で掲げた目標値を再度目指すこととする。	19.2	40.0	25.8	17.5	19.2
	3 文化財の保護と活用	指定文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数	社会教育課	下がると良い指標	成果	件	業務取得	【算定】1年間にき損・滅失・亡失・盗難された指定文化財の件数 【取得】年度末 【対象】国・県・市指定文化財	過去の実績では地震、台風等の天災の影響による「き損」が大半を占めており、予測不能であるが、目標値設定にあたっては管理者・所有者へ「滅失・亡失・盗難」予防対策等の周知を徹底し、ゼロを目指す。	2	0	2	2	2
		市民が活用した無形指定文化財等の件数	社会教育課	上がると良い指標	成果	件	業務取得	【算定】市民が1年間に活用した指定文化財等の件数(①～③の合計) 【取得】年度末 【対象】①市民が参加した伝統文化(千燈明、稚児風流、盆綱曳き、修正会等)、②文化財活用イベント、③文化財展示の件数	新たな文化財の指定は見込めないが、現状は維持していく必要があるため。	5	5	-	-	5
	4 青少年教育・体験活動の推進	青少年体験活動に満足している参加者の割合	社会教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】友愛キャンプ(年3回)の参加者アンケートで「次回も参加したい」と回答した人+中高生ボランティアちっご塾アンケートで「内容に満足」と回答した人÷友愛キャンプの参加者数+中高生ボランティアちっご塾アンケート回答者数 【取得】年度末	目標値は達成している。各事業の実施により、現状の高水準を維持する。	92.8	90.0	95.3	なし	92.8

施策	基本事業名	指標名	担当課	指標の種別	指標区分	単位	取得方法	算定式	目標値設定理由	総合計画基準値(R3)	総合計画目標値(R8)	31年度指標値実績	2年度指標値実績	3年度指標値実績	
施策5-3 男女共同参画社会の推進	0	男女が平等だと思う市民の割合	男女共同参画推進室	上がると良い指標	成果	%	市民アンケート	【算定】1.2.3.4の「各設問毎で③を選択した回答者数計/全回答者」数の平均 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】次の場所で男女の地位は平等だと思いますか。 1. 学校 2. 職場 3. 家庭 4. 地域 ①男性が優遇されている ②どちらかといえば男性が優遇されている ③平等 ④どちらかといえば女性が優遇されている ⑤女性が優遇されている	前期目標が達成できなかったため、後期目標も同数値とする。	54.6	58.0	53.3	56.9	54.6	
	1	男女共同参画社会実現に向けた市民や市内企業への啓発	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識に反対する市民の割合	男女共同参画推進室	上がると良い指標	成果	%	市民アンケート	【算定】項目④⑤回答者/全回答者 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。 ①賛成 ②どちらかといえば賛成 ③わからない ④どちらかといえば反対 ⑤反対 (④+⑤)/小計(無回答除く)	H29)43.4%、H30)43.7%、H31)46.3%、R2)46.8%、R3)48.4%と社会の変容もあり、数値は上昇傾向にある。市アンケートの回答者は年齢層が高いため、急な伸びは考えにくい。過去3年間の伸びの平均(1.022ポイント)に上乘せし、1.025ポイント/年上昇すると計算。	48.4	55.0	46.3	46.8	48.4
	2	まちづくりにおける女性参画の推進	審議会・委員会の女性登用率	男女共同参画推進室	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】地方自治法第202条の3関係の審議会・委員会にかかる女性委員数/全委員数(3年間の平均値) 【取得】関係各課からの人数把握	前期目標が達成できなかったため、後期目標も同数値とする。	32.8	35.0	32.3	33.4	32.8
			区長・公民館長・地域役員の女性登用率	男女共同参画推進室	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】行政区長、公民館長及び地域役員にかかる全女性数/全数 【取得】行政区長・公民館長…関係課からの人数把握 地域役員…各行政区規約に規定している役員より人数把握	後期基本計画より「地域役員の女性登用率」を追加している。R3年度は6.7%と目標を達成できたように見えるが、R4は、5.3%と1.4ポイント下がっており、H31.R2年度と同水準である。R4の目標値に1ポイント達成していない。地域役員についても同様な割合となる見解を持っている。このため、R3年度実績に+0.1ポイントとする。	-	23.0	-	-	-
	3	男女に関する人権保護と相談体制の充実	男女の人権に関する通知・連携件数	男女共同参画推進室	下がると良い指標	成果	件	業務取得	【算定】当室が相談を受け、被害状況が重篤であると判断し配偶者暴力相談支援センターに繋いだ件数。 【取得】当室での報告	設定無 H31)2件、R2)3件、R3)2件	2	-	3	3	2
4	ジェンダー平等の視点を反映した施策の推進	ジェンダー平等の視点が事業に反映していると思う職員の割合	男女共同参画推進室	上がると良い指標	成果	%	職員アンケート	【算定】①・②の回答者数÷全回答者数(無回答を除く) 【設問】「ジェンダー平等の視点が事業に反映していると思いますか」 【選択肢】①そう思う、②どちらかといえばそう思う、③どちらかといえばそう思わない、④そう思わない	今回、新しい目標である。職員の意識を指標としているため、職員研修事務の目標値設定を参考にし、約1ポイント/年上昇数値とした。	66.3	70.0	-	-	66.3	
施策5-4 人権尊重と同和教育の推進	0	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の割合	人権・同和教育課	下がると良い指標	成果	%	職員アンケート	【算定】「はい」に○をつけた回答者/全回答者 【取得】市民アンケート 【対象】市民(無作為抽出) 【設問】この1年間に言動で人権を傷つけられたとありますか。 はい いいえ	平成31年度からの推移をみると大きく減少しているように見えるが、平成30年度現状値は、23.0%である。現状値から見ると、横這いの状況。人権に関する考える市民が増えれば、人権に敏感になることも要因の一つではないかと考えている。令和3年度は前年度比98%と減少しており、令和3年度の現状値を踏まえ、令和8年度の目標を21%とする。	23.8	21.0	26.7	24.2	23.8	
	1	市民や市内企業への人権教育・啓発	人権啓発事業・講座への初めての参加者の割合	人権・同和教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】「同和教育・人権啓発推進大会」の参加者、「人権を考える市民のつどい」の参加者、「人権セミナー」の参加者のうち、初めて参加した者の割合 【取得】事務事業評価表より把握	令和3年度の現状値は、R2.3年度とコロナ禍により、集客型の啓発事業が難しい状態であった中での数値である。令和3年度は、前年度比102.8%と向上している。令和3年度の現状値から、毎年102.8%ずつの増加を見込んでいくと31%となる。前期目標値+1%である31%を目標値とする。	26.0	31.0	19.9	25.3	26.0
	2	児童・生徒への人権教育・啓発	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合	人権・同和教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】①と回答した者の割合 【取得】「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(文部科学省) 【設問】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」、回答:「①当てはまる②どちらかといえば当てはまる③どちらかといえば当てはまらない④当てはまらない」	令和元年度から令和3年度までの過去3年間の指標の実績値の平均が83.7%であったため、令和8年度の目標値を過去3年間の平均値よりも若干高めめの85.0%に設定する。	84.8	85.0	83.8	82.5	84.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合			人権・同和教育課	上がると良い指標	成果	%	業務取得	【算定】①と回答した者の割合 【取得】「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(文部科学省) 【設問】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」、回答:「①当てはまる②どちらかといえば当てはまる③どちらかといえば当てはまらない④当てはまらない」	令和元年度から令和3年度までの過去3年間の指標の実績値の平均が82.6%であったため、令和8年度の目標値を過去3年間の平均値よりも若干高めめの85.0%に設定する。	86.7	85.0	76.1	85	86.7	